

独立行政法人北方領土問題対策協会の業務執行状況

(平成 18 年 9 月 30 日現在)

平成 18 年度独立行政法人北方領土問題対策協会年度計画	平成 18 年度上半期業務執行状況
<p>1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>中期計画の削減目標を達成するため、連絡会議等を活用して効率化を推進する体制を充実させるとともに、事務マニュアルの充実・有効活用、電子媒体の円滑な活用によりペーパーレスを推進し、業務の効率化を図り、経費の削減に努める。</p> <p>「行政改革の重要方針」(平成 17 年 12 月 24 日閣議決定)を踏まえ、役職員の給与に関し、俸給水準の引き下げを行うなど国家公務員の給与構造改革を踏まえたと見直しに取り組む。</p> <p>さらに、業務における経費の効率化を図るため、各種支援事業における節約の呼びかけ、効果が著しく低下した行事等の見直し・廃止、新規事業をおこす際のスクラップ等を励行する。</p> <p>また、組織の業務遂行能力の充実を図るため、職員を各種研修会へ積極的に派遣するなど職員の能力の向上を図る。</p>	<p>1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幹部会、全体会議、事務局連絡会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> 事務・事業の効率化を推進する体制を強化するため、昨年度に引き続き幹部会、事務局連絡会議を毎週月曜日に開催している他、月 1 回役職員全体による会議を定期的に開催することとした。 ○ 事務マニュアルの充実・有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 事務・事業の効率化を推進するため、事務マニュアルの充実、有効活用を行うとともに、適宜、マニュアルの更新・作成を行っている。 ○ ペーパーレスの推進 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き電子媒体を活用したペーパーレスの推進、また、会議資料の両面コピーを積極的に推進している。 ○ 各種事業の節約・見直しの呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き協会主催の会議及び県民会議、北連協等が開催する会議等の場で、事業の効率的・効果的な推進を呼びかけている。 ○ 職員の研修への派遣 <ul style="list-style-type: none"> 組織の業務遂行能力の充実を図るため、職員を各種研修会に以下のとおり派遣する <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開・個人情報保護制度の運営に関する説明会 (総務省行政管理局主催) ・ 給与実務研修会 [人事院勧告] (財団法人日本人事行政研究所)

2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- (1) 国民世論の啓発に関する事項
- ① 北方領土返還要求運動の推進
- (7) 全国に設置されている北方領土返還要求運動都道府県民会議（以下「県民会議」という。）並びに返還要求運動に取り組み民間団体で組織される北方領土返還要求運動連絡協議会（以下「北連協」という。）及び北連協加盟団体等が実施する次の事業に対する支援を行う。支援事業の合計は年間で100回以上の水準を保つこととする。

- (I) 北方領土返還要求全国大会
（2月7日「北方領土の日」開催場所：東京）
- (II) 県民会議が開催する県民大会、講演会、研修会等
- (III) 北連協及びその加盟団体等が開催する現地（根室市）集会、研修会等

2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- (1) 国民世論の啓発に関する事項
- ① 北方領土返還要求運動の推進
- (7) 県民会議、北連協等が実施する事業への支援実績
県民会議、北連協等が実施する事業に対し、啓発資料・資料の提供、啓発パネル・ビデオの貸与、講師派遣、経費等の支援を行った。

〔支援状況〕

大会	研修会等	キャラバン等	パネル展	北連協事業等	計
4	9	2	3	6	24

- (I) 北方領土返還要求全国大会（下半期開催予定）
（2月7日「北方領土の日」開催場所：東京）
- (II) 県民会議が開催する県民大会、講演会、研修会等
〔県民大会〕
新潟県、石川県、岐阜県、奈良県
〔研修会・講演会〕
宮城県、福島県、千葉県、山梨県、滋賀県（2回）、大阪府、和歌山県、愛媛県
- (III) 北連協及びその加盟団体等が開催する現地（根室市）集会、研修会等
〔北連協〕

	<p>(事業名) 北方領土返還要求運動連絡協議会講演会 (開催月日) 6月6日(火) (開催場所) 日本青年館 [日本青年会議所]</p> <p>(事業名) 第37次北方領土返還要求現地視察大会 (開催月日) 7月8日(土)9日(日) (開催場所) 望郷の岬公園(納沙布岬)、根室市民文化会館 [日本青年団協議会・全国地域婦人団体連絡協議会]</p> <p>(事業名) 第37回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会 (開催月日) 7月16日(日) (開催場所) 根室グランドホテル [日本労働組合総連合会]</p> <p>(事業名) 2006 平和行動 in 根室 (開催月日) 9月23日(土)24日(日) (開催場所) 望郷の岬公園(納沙布岬) [その他]</p> <p>○ 納沙布岬マラソン大会(根室市) ○ 北方領土返還号(バス広告/北方領土復帰期成同盟渡島支部)</p> <p>(iv) 北方領土返還要求署名活動、街頭啓発、街頭啓発、キャラバン、パ ネル展等 [キャラバン・街頭啓発・署名活動] 石川県、愛媛県 [パネル展] 和歌山県、鳥取県、宮崎県</p>
<p>(iv) 北方領土返還要求署名活動、街頭啓発、キャラバン、パ ネル展等の北方領土返還要求にかかわるその他の啓発活動</p>	

<p>(イ) 県民大会等へ研究者、実務家、元島民等を講師として派遣する事業を実施する。</p> <p>(ウ) 北方領土問題の早期解決に向けての固い決意を内外に強く訴えるため、2月、8月の「北方領土返還運動強調月間」期間中に都道府県民会議の統一行動として、北方領土の返還を求める「啓発懸垂幕」を全国一斉に掲出する。</p> <p>(エ) 協会、県民会議、都道府県等の連携を緊密にするためのパイプ役として推進委員を配置し、協会の得た情報の提供を行い、その共有を図り、返還運動の推進を図る。</p> <p>(オ) 県民会議等専業の今年度の計画、総括・見直し、課題等を協議するため、以下の会議を招集する。 ○ 都道府県推進委員全国会議（東京／4月）</p>	<p>(イ) 県民大会等へ研究者、実務家、元島民等を講師として派遣 〔講師派遣実績〕 13回</p> <p>(ウ) 北方領土問題の早期解決に向けての固い決意を内外に強く訴えるため、8月「北方領土返還運動全国強調月間」中に都道府県民会議統一行動として、北方領土の返還を求める「啓発懸垂幕」を全国一斉に掲出した。 〔掲出内容〕 「北方の領土かえる日 平和な日」を統一コピーとした懸垂幕、横断幕、電光掲示板 〔掲出場所〕 各都道府県庁舎等約74箇所</p> <p>(エ) 協会、県民会議、都道府県等の連携を緊密にするためのパイプ役として推進委員を47都道府県に配置した。</p> <p>(オ) 県民会議等専業の今年度の計画、総括・見直し、課題等を協議するため、以下の会議を開催した。 〔都道府県推進委員全国会議〕 (開催月日) 4月14日(金) (開催場所) 都道府県会館 (政府出席者) 内閣府、外務省、文部科学省 (出席者) 都道府県推進委員等93名 (会議内容) 北方領土問題に対する政府説明 内閣府、外務省、文部科学省 北方領土問題対策協会事業説明</p>
--	---

ブロック別協議

全体協議

返還運動の事例報告

- 都道府県民会議代表者全国会議（和歌山／10月）

[都道府県民会議代表者全国会議]
上半期の事業の総括と下半期の事業のあり方を検討する会議を
10月27日に和歌山市において開催する。

- ブロック幹事県担当者会議（東京／3月）

[ブロック幹事県会議]
本年度事業を総括し、来年度の事業のあり方を検討するための会
議を3月に予定している。

- 県民会議ブロック会議（6ブロック）

[県民会議ブロック会議]

- 北海道・東北ブロック（主管：青森県民会議）
（会議名） 平成18年度北海道・東北ブロック連絡協議会
（開催月日） 7月31日（月）
（開催場所） 弘前パークホテル（弘前市）
（参加者） 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北
対協等26名

（会議内容）

政府説明（内閣府）

事業報告（北対協）

全体協議

- ・各県民会議重点事業について
- ・教育者会議について

- 関東・甲信越ブロック（主管：新潟県民会議）

	<p>(会議名) 第24回関東甲信越ブロック北方領土関係者会議、 第19回関東甲信越ブロック北方領土返還要求運 動都・県民会議連絡協議会、第10回北方領土返還 要求事務担当者ブロック会議</p> <p>(開催月日) 5月26日(金)</p> <p>(開催場所) 浦佐ホテルオカベ(南魚沼市)</p> <p>(参加者) 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北 対協等26名</p> <p>(会議内容) 北方領土に関する最近の動向(内閣府) 北対協の今年度事業計画(北対協) 第20回関東甲信越青少年交流会(茨城県民会議) 全体協議 ・教育者会議について ・北方領土問題学生研究会について等</p> <p>○ 東海・北陸ブロック(主管:愛知県民会議)</p> <p>(会議名) 第25回東海・北陸ブロック北方領土関係者会議、 平成18年度東海・北陸ブロック北方領土返還要求 運動推進県民会議連絡協議会総会</p> <p>(開催月日) 7月27日(木)</p> <p>(開催場所) 岡崎ニューグランドホテル(岡崎市)</p> <p>(参加者) 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北 対協等22名</p> <p>(会議内容) 政府説明(内閣府) 北対協活動報告(北対協) 各県活動報告及び今後の運動の進め方</p>
--	--

北方領土問題教育者会議について

- 近畿ブロック（主管：滋賀県民会議）
（会議名） 平成18年度近畿ブロック北方領土返還運動連絡協議会
- （開催月日） 5月19日（金）
- （開催場所） 大津プリンスホテル（大津市）
- （参加者） 各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等16名
- （会議内容） 17年度事業報告
" 決算報告
18年度事業計画
" 予算計画
- 中国・四国ブロック（主管：広島県民会議）
下半期開催予定
- 九州・沖縄ブロック（主管：佐賀県民会議）
（会議名） 北方領土返還要求九州・沖縄ブロック会議
- （開催月日） 8月3日（木）
- （開催場所） ルネッサンスホテル創世（佐賀市）
- （参加者） 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等39名
- （会議内容） 講話（内閣府）
特別報告／北方四島交流受け入れ事業を終えて
各県民会議からの活動報告

[北連協代表者会議]（下半期開催予定）

○ 北連協代表者会議

<p>(カ) 広く国民に北方領土問題及び返還要求運動について、理解と認識を深めるため以下の事業を実施する。</p> <p>(i) 標語募集</p> <p>(ii) 啓発広告塔の維持管理</p> <p>(iii) ポスターカレンダーの作成</p> <p>(iv) 啓発懸垂幕の掲出</p> <p>(v) パンフレット等の啓発用資料・資材の作成等</p>	<p>(カ) 広く国民に北方領土問題及び返還要求運動について、理解と認識を深めるため以下の事業を行った。</p> <p>(i) 標語募集 (募集期間) 4月1日～9月30日 (賞及び賞状) 最優秀賞 1人 賞状、賞金5万円 優秀賞 4人 賞状、賞金2万円 佳作 5人 賞状 (選考委員会) 10月31日(予定) (入選発表) 入賞作品決定後、ホームページ等で発表 【参考】昨年度理事賞賞作品 世代越え 心に願うは 四島(しま) 返還</p> <p>(ii) 啓発広告塔の維持管理 全国主要都市17カ所に設置している広告塔の維持管理を行った。</p> <p>(iii) ポスターカレンダーの作成(12月製作予定)</p> <p>(iv) 啓発懸垂幕の掲出 (掲出場所) 中央合同庁舎第4号館 (掲出期間) 7月31日～8月31日 (8月北方領土返還運動全国強調月間中)</p> <p>(掲出内容) 北方の領土かえる日 平和の日 8月は北方領土返還運動全国強調月間です</p> <p>【予定】 2月北方領土返還運動全国強調月間中に同所にて掲出予定 パンフレット等の啓発用資料・資材の作成等 2月北方領土返還運動全国強調月間の県民会議事業に備え</p>
---	---

作成予定。

(#) 根室地域の以下の啓発施設にある展示資料等を充実させるとともに、意見箱の意見の集約を行い、その意見を反映させることにより来館者へのサービスの向上を図る。

- 北方館（根室市）
- 別海北方展望塔（別海町）
- 羅臼国後展望塔（羅臼町）

(#) 根室地域の以下の啓発施設にある展示資料等を充実させるとともに、意見箱の意見の集約を行い来館者へのサービスの向上を図っている。

[意見箱結果]（4月～9月の間）

（北方館／根室市）

- ・大変有意義だった 63.1%
- ・有意義だった 28.8%

（別海北方展望塔／別海町）

- ・大変有意義だった 42.9%
- ・有意義だった 57.1%

（羅臼国後展望塔／羅臼町） 集計中

② 青少年や教育関係者に対する啓発の実施

(7) 返還要求運動の「後継者対策」を目的として、全国の青少年、教育関係者等に本問題への理解と関心を深めてもらうため、返還要求運動原点の地・根室市等において、以下の事業を実施する。

- 北方少年交流事業（北方領土元居住者の3世／7月）
 - ・ 内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）等関係大臣に対し、早期解決を訴える。
 - ・ 同世代の少年・少女と交流を通じた北方領土研修。

② 青少年や教育関係者に対する啓発の実施

(7) 返還要求運動の「後継者対策」を目的として、全国の青少年、教育関係者等に本問題への理解と関心を深めてもらうため、返還要求運動原点の地・根室市等において、以下の事業を実施した。

[北方少年交流]

（開催月日） 7月27日（木）～31日（月）

（開催場所） 東京都、茨城県

（参加者） 根室支庁管内に在住する元島民3世等8名

（事業内容） 小泉内閣総理大臣、小池内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、遠山外務大臣政務官に北方領土問

<p>○ 北方領土問題青少年・教育指導者研修会（対象：中学生、高校生及び中学校社会科担当教諭等／8月・根室市）</p>	<p>題の早期解決を訴えとともに、小坂文部科学大臣に対し、学校教育の場での北方領土教育の充実を訴えた。</p> <p>また、関係大臣等を表敬した後、茨城県で開催した第20回北方領土返還要求運動関東・甲信越青少年交流会に参加し、同世代の少年・少女と交流を通じ北方領土研修を行うとともに、北方領土問題及び返還運動の重要性を訴えた。</p> <p>[北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会] (開催月日) 8月18日(金)～19日(土) (開催場所) 根室市立柏陵中学校、根室グランドホテル、北方四島交流センター (参加者) 全国6ブロックからの中高生、引率者52名 (事業内容) 《共通プログラム》 ・地元中高生の弁論発表 ・元島民の体験談 ・北方領土模擬授業の実践 ・啓発ビデオの鑑賞 ・北方領土現地視察 《青少年プログラム》 ・地元中高生との交流(北方領土基礎講座等) ・北方領土壁新聞づくり 《教育指導者プログラム》 ・基調講演</p>
---	--